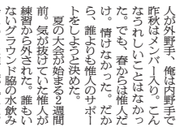

高校野球100年

中京大中京 振り切る

一回表中京大中京無死、先頭の河田は右中間に三塁打を放つ＝梅根麻紀撮影

スマートフォンで「朝日コネクト」と検索してアプリをインストール。日付を発行日に合わせて「球音」アイコンにかざしてください。ハイライト動画を見られます。

◇1回戦（第2試合）

										計
中京大中京（愛知）	3	0	0	1	0	0	0	0	0	4
岐阜城北（岐阜）	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

㊉…中京大中京が鮮やかな集中打。一回、先頭からの5連打で3点を挙げ、主導権を握った。上野は力強い直球を主体に、10奪三振で完投した。岐阜城北は鷲見がスローカーブを軸に2桁安打を浴びながら粘ったが、打線が3併殺とつながらなかった。

いきなり5連打 主導権

球音

「どの球も引きつけて振り切れる」。岐阜城北の捕手、宮川敬は開始からわずか3球で恐怖を覚えた。「今までの相手と、違う」

恐怖心の相手は中京大中京の1番河田だ。1ボールからの直球を強振し、ファウルに。3球目にバッテリーが選択したのはエース鷲見が得意とする90㌔台のカーブ。初めて見たにもかかわらず、河田は振り切った。ファウルになったが、タイミングはぴたり。

「初戦だし、最初から全部フルスイングしようと思っていた」と河田。

困ったのはバッテリーだ。カーブは30㌔以上の球速差でタイミングを外すのが狙い。「打者は体が突っ込んで手が出ない」と自負する球を強振され、リズムを崩す。

続く4球目を河田が完璧にとらえて右中間三塁打にすると、矢田崎まで5連打で3得点。中京が主導権を握った。

中京打線の意識は「センターを中心に引っ張る」。遅い球に対して逆方向を意識、などと小さくまとまろうとはしない。冬場の素振りに裏打ちされた自信があるからだ。1日千本が目安。「スイング管理表」を作り、競うようにバットを振った。その成果を甲子園で証明した。

2009年に歴代最多となる7度目の全国制覇。その1年後の秋に就任した高橋監督の下、5年ぶりの夏となる。出られなかった期間を監督はこう振り返る。「本当に苦しかった。でも、中京の目標は常に『日本一』でなければならないと、やってきました」

選手権通算77勝目も歴代1位。愛知が誇る「レジェンド」が、100年の夏の主役に名乗りを上げた。

（山口史朗）

【中京大中京】		打	得	安	点	振	球	犠	盗	失
〔左〕	河田	4	1	3	1	0	0	0	0	0
左	福富	1	0	0	0	1	0	0	0	0
〔二〕	加藤	5	1	1	1	0	0	0	2	0
〔中〕	中村	5	1	1	0	0	0	0	0	0
〔捕〕	伊藤	4	0	2	1	0	0	0	0	0
〔一〕	矢田崎	4	0	1	1	0	0	0	1	0
〔三〕	杉本	4	0	0	0	0	0	0	0	1
三	足立	0	0	0	0	0	0	0	0	0
〔遊〕	佐藤	4	0	0	0	0	0	0	0	1
〔右〕	内藤	2	1	0	0	0	2	0	0	0
〔投〕	上野	3	0	2	0	1	0	1	0	0
残	8	36	4	10	4	2	2	1	3	2

【岐阜城北】		打	得	安	点	振	球	犠	盗	失
〔中〕	池尾	4	0	1	0	0	0	0	0	0
〔右〕	林	4	1	2	0	0	0	0	0	0
〔一〕	平井	4	0	0	0	2	0	0	0	0
〔捕〕	宮川敬	4	0	1	0	2	0	0	1	0
〔左〕	仲村	3	0	0	0	1	0	0	0	0
〔投〕	鷲見	3	0	0	0	2	0	0	0	0
〔二〕	成瀬	3	0	0	0	0	0	0	0	0
〔三〕	伊藤	2	0	0	0	2	0	0	0	1
打	毛利	1	0	1	0	0	0	0	0	0
走	浦崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三	小川	0	0	0	0	0	0	0	0	0
〔遊〕	村木	3	0	1	0	1	0	0	0	1
残	3	31	1	6	0	10	0	0	1	2

投手	回	打	安	振	球	失	責
上野	9	31	6	10	0	1	0
鷲見	9	39	10	2	2	4	4

〔三〕河田　〔二〕伊藤　河田　〔併〕中3　岐2　▽審判（球）美野（塁）野口　岸　千葉　1時間41分

冷静エース 1失点完投

中京大中京の上野は「まずは目の前の1勝。勝ててよかった」。低めに丁寧に集める投球が持ち味だが、「今日は球が浮いて、自分の投球ではなかった」という。それでも落ち着いたマウンドさばきで、1失点完投。九回、最後の打者は「一番いい球で終わらせたかった」と、144㌔の直球で空振り三振に。「楽しかった」と笑顔をみせた。

▼中京大中京は17回連続初戦突破　出場は27回目で、第43回大会（1961年）から初戦で負けなし。

▼河田（中）が負傷交代　六回の打撃で一塁に駆け込んだ際、右太もも前部を痛めた。足がつったこともあり、八回の守備中に退いた。アイシングの処置をしたという。

岐阜城北 悔いた配球

岐阜城北の捕手宮川敬

岐阜城北の宮川敬が144㌔の高め直球を空振りして試合終了。「ビデオで見るのと球の勢い、キレが違った」と相手投手をたたえた。

捕手で4番で、しかも主将。一回に3失点したが、その裏に好機で打席が回る。1死一、二塁で初球のスライダーを強振。相手守備の乱れを誘い1点を返した。「積極的に強い気持ちでいった。よかった」

先頭打者で迎えた四回には中前安打。しかし、直後の併殺で反撃の芽は広がらなかった。攻守の要は「もう少し緩急をつけていれば。冷静になれなかった」と立ち上がりの配球を悔いた。

2年生 意地の2安打

岐阜城北は2年の林がチーム唯一の複数安打で意地を見せた。一回無死二塁で、ライナー性の打球を中前へ。3点を追う九回は、先頭で再び中前安打を放ったが、反撃にはつながらなかった。「難しい投手でなかなか打てない中、自分は次の打者につなぐことができた。これからの自信になる」と前向きだった。

●鹿野監督（岐）　「初回の3点が非常に大きかった。だが、こどもたちは甲子園でも挑戦者の気持ちでやってくれた。感謝の気持ちでいっぱいです」

●毛利（岐）　八回1死から代打に起用され、中前安打。「塁に出て次につなぐことが自分の仕事。無我夢中だった。打ててうれしかった」

背番号をもらえないことは、わかってた。
メンバー発表の時、それでも落ち込む自分がいた。
くやしい、と思える位には、頑張ってきたのかな。
僕だけじゃない、背番号のない球児たちが、
声を枯らして応援している。
いや、一緒にプレーしている。
ここに来てわかったんだ。

ナインは、9人だけじゃない。

応援する人の渇きにも

ION SUPPLY DRINK POCARI SWEAT

大塚製薬

企画・制作　朝日新聞社広告局

今日 8月7日は【機械の日】

七夕の中暦にあたる8月7日は「機械の日」です。七夕の起源は、乞巧奠（きっこうでん）という、技巧上達を願う中国伝来の行事や、棚機（たなばた）という織機で、神の衣を織る神事に由来すると言われています。少なからず機械と関連するこの日に、"機械"の意義や役割を社会と共に考え、人と機械が生み出す豊かな未来を模索するため、日本機械学会が産官学と協力して「機械の日」を制定しました。最先端技術を体感できる様々な企画展示が行われます。

うごかす、とめる。Nabtesco
www.nabtesco.com

布を縫うミシンの語源は機械のマシーンらしいよ

今日はナンデスコ？
No.02
作：見ル野栄司
ガガガ
わぁー パワーショベルだー 力強い動きだなぁ
ガゴゴゴ
ずーっと見ていても飽きないよね かっこいいし
解体中か…… 子どもにはあのショベルが魅力なんだな
ショベルじゃないよ あの重たい体を動かしているモーターがすごいんだよ
ガガ
そこを見ていたの〜っ!?
ブロロロロ
なぜあんなにパワーがあるんだろう？
パパは商社なのでわからないぞ、息子よ
知りたいかね？少年
ブフフ
また教えたがりのオジサンだ！
ブロロ〜
あれは走行モーターといって油圧の力とギヤーの組み合わせを利用してとてつもないパワーを生み出すんだよ
ブロロロ
なぜ油圧なの？
電気式モーターでは出せない力をあの小ささで実現できるからだよ
つっこむねー キミ
例えば水だと漏れやすかったり錆の原因になるから油を使い……それをパスカルの法則で大きな力に変えてモーターを回すんだ
パスカルの法則
大　小
油圧ポンプ
油圧コントロールバルブ
油圧モーター
小さな力でもたくさん動かせば大きな力に変換できる
そんな力持ちのモーターをつくれる優れた会社があるんだよ
油が中に入ってきても漏れないの？
それは絶対にあってはならないので完璧な管理の元慎重に組み立てられていくんだ
油が漏れても、切り替える弁が引っ掛かってもいけないのでその穴と弁は超精度が求められる……だから加工は一流の職人さんが最新の機械でつくり込んでいるんだ
中に入る部品の加工精度も高くなくてはならないので苦労する部分でもあるんだ
その中身は実はかなり複雑で
さらに油圧を制御するバルブというものもあるんだよ
油の流れを切り替えるものだね
バブル再到来!?
油圧コントロールバルブ
今日のナンデスコ
パワーショベルの力強さはつくる人たちのパワーでできてるんだね！
キミ誰だね？
ガゴ ガゴゴ
よし！
うまい！息子よ

住み良い社会づくりに安全・安心・ECOを提供します
ナブテスコは、コンパクトなサイズで大きなパワーを生み出す油圧技術で、世界中のインフラ整備や資源開発などで活躍する建設機械の高性能化に貢献しています。これからも、建設工事の省人化・自動化を安全・安心に実現する油圧機器の開発を進めていきます。
パワーコントロールカンパニー 社長 坂井 宏彰
次回は9月下旬掲載予定です。お楽しみに！

第97回 全国高校野球選手権大会

主催／朝日新聞社・日本高野連　後援／毎日新聞社　特別協力／阪神甲子園球場

第1日（6日）

1回戦

鹿児島実	18－4	北海
中京大中京	4－1	岐阜城北
上田西	3－0	宮崎日大

1・2回戦 組み合わせ

- 作新学院（栃木）・宮崎日大（宮崎）／上田西（長野）の勝者　第7日③
- 岐阜城北（岐阜）／中京大中京（愛知）の勝者・鹿児島実（鹿児島）／北海（南北海道）の勝者　第7日④
- 花巻東（岐手）－専大松戸（千葉）　第2日①
- 霞ケ浦（茨城）－広島新庄（広島）　第2日②
- 九州国際大付（福岡）－鳴門（徳島）　第2日③
- 東海大甲府（山梨）－静岡（静岡）　第2日④
- 早稲田実（西東京）－今治西（愛媛）　第3日①
- 敦賀気比（福井）－明徳義塾（高知）　第3日②
- 大阪偕星（大阪）－比叡山（滋賀）　第3日③
- 下関商（山口）－白樺学園（北北海道）　第3日④
- 第8日①～④　第8日のくじを引く
- 津商（三重）－智弁和歌山（和歌山）　第4日①
- 天理（奈良）－創成館（長崎）　第4日②
- 滝川二（兵庫）－中越（新潟）　第4日③
- 明豊（大分）－仙台育英（宮城）　第4日④
- 健大高崎（群馬）－寒川（香川）　第5日①
- 岡山学芸館（岡山）－鳥羽（京都）　第5日②
- 第9日①～③　第9日のくじを引く
- 龍谷（佐賀）－秋田商（秋田）　第5日③
- 鳥取城北（鳥取）－鶴岡東（山形）　第6日①
- 関東一（東東京）－高岡商（富山）　第6日②
- 石見智翠館（島根）－興南（沖縄）　第6日③
- 三沢商（青森）－花咲徳栄（埼玉）　第6日④
- 東海大相模（神奈川）－聖光学院（福島）　第7日①
- 遊学館（石川）－九州学院（熊本）　第7日②

（上が一塁側。①8:00②10:30③13:00④15:30。第5日と第9日は①9:30②12:00③14:30）

熱戦 追う迫る
- 球音　一投一打もっと深く
- きらり　きらめく球児、伝えます
- はま風　スポットライトここにも
- アルプス席　記者はこう思う

小技で加速 鹿実18点

五回表鹿児島実2死一、二塁、橋本の適時三塁打で二塁走者の最上（中央）と、一塁走者長谷部が生還。③次打者有村＝岩下毅撮影

◇1回戦（第1試合）

										計
鹿児島実（鹿児島）	2	0	2	1	10	0	0	3	0	18
北海（南北海道）	1	0	2	0	1	0	0	0	0	4

㊉…鹿児島実は有村が投打に活躍した。一回に右前安打で出て先制の本塁を踏むなど5打数4安打。六回1死一塁から救援し、八回までを2安打無失点に抑え、反撃の流れを断った。北海は山本、渡辺幹が五回途中まででで6四死球と制球の乱れが痛かった。

序盤から点を取れば返される展開の開幕試合。五回、鹿児島実が猛攻の糸口にしたのはスクイズだ。

1死二、三塁で打席は途中出場の最上。3球目、スクイズの構えを見せ、内野が厳しく前進してこないことを確認した。「角度は狙いすぎなくていい。絶対決められる」。4球目を三塁寄りに転がし、成功。自らも生きるこの内野安打で、鹿児島大会で打率2割9分台と乗り切れなかった打線が目覚めたようだ。

この回、8長短打で10得点。最上も2巡目の打席では2点二塁打を放ち、「これが本来のうちの打線。鹿児島大会がちょっと悪かっただけです」と笑った。

3投手継投 反撃しのぐ

「打線に助けられた」

3投手でつないだ鹿児島実。六回途中で仲間にバトンを渡したエース橋本は、「打線と後ろの投手陣に助けられた」と一息ついた。開会式直後。緊張と観客の多さに目線が高くなり、低めに制球できなかったという。「心臓がドキドキで、冷静になる時間を作れなかった。次は自分のペースにしたい」

○宮下監督（鹿）　開幕試合の緊張感について聞かれ、「生徒の顔を見たら、楽しそうにやっていた。緊張したと思うけど、落ち着いていました」。

○有村（鹿）　1番打者で4安打1打点。投げても好救援。「攻撃の流れをつくるつもりだった。王さんの始球式の方が緊張して、試合ではほぐれた」

北海 開幕戦の緊張

力投する北海先発の山本

初球のチェンジアップをいきなり右前に運ばれた。ついさっき、王貞治さんが始球式の一球を投じたマウンドで、北海の山本は自分の投球ができない。「緊張してコーナーに投げられず、みんなに申し訳ないことをした」。次打者を四球で歩かせると、バッテリーミスで2点を失った。

二回は三者三振で、背番号8ながら先発を任された実力を発揮した。三回に再びつかまり、渡辺幹がマウンドへ。一緒に競い合って成長してきた背番号1も、しかし、相手の勢いを止められない。四、五回に打ち込まれた。

「緊張はなかった。自分の力が足りなかった」と唇をかんだ。

鎌仲、バースデー本塁打も…　北海の主将鎌仲が特大の2点本塁打を放った。3点を追う三回2死一塁でスライダーを振り抜き、右中間席に放り込んだ。「打った瞬間、入ったと思った」という一発は、自身の18歳の誕生日を祝う本塁打。だが、チームは中盤に大量失点。「一番は勝つことだったので悔しい。最高で、最悪の誕生日になった」

【鹿児島実】		打	得	安	点	振	球	犠	盗	失
〔一〕投一	有村	5	3	4	1	0	1	0	1	0
〔中〕	安藤	3	3	0	1	0	3	0	0	0
〔右〕	室屋	5	1	2	2	0	0	1	1	0
〔三〕	綿屋	6	1	2	4	1	0	0	0	1
〔捕〕	築地	6	2	4	1	0	0	0	1	0
〔二〕	板越	2	1	1	0	1	2	0	0	0
打二	松本	0	1	0	0	0	1	0	0	0
	柿迫	1	0	0	0	0	0	0	0	0
〔左〕	追立	2	0	0	0	2	0	0	0	0
左一	最上	2	1	2	3	0	0	0	0	0
	柴田	2	1	2	1	0	0	0	0	0
投	堂脇	0	0	0	0	0	0	0	0	0
〔遊〕	長谷部	4	3	1	0	1	1	0	0	0
〔投〕左	橋本	3	1	1	2	0	0	2	0	0
残	7	41	18	19	15	5	8	3	3	1

【北海】		打	得	安	点	振	球	犠	盗	失
〔中〕右中	柿沼	4	0	1	0	1	1	0	0	0
〔捕〕	渡辺翔	3	3	2	0	0	1	0	0	0
三	渡辺健	1	0	0	0	0	0	0	0	0
〔三〕捕	丹野	4	0	2	2	1	0	0	0	1
〔左〕	鎌仲	4	1	1	2	0	0	0	0	0
〔一〕	佐藤	2	0	0	0	0	0	0	0	0
打一	鷹架	2	0	1	0	0	0	0	0	0
〔二〕	大矢	3	0	1	0	0	1	0	0	0
〔投〕中投	山本	3	0	0	0	1	0	1	0	0
〔右〕	菅野	1	0	0	0	0	0	0	0	0
投	渡辺幹	1	0	0	0	0	0	0	0	0
投右	大西	2	0	0	0	0	0	0	0	0
〔遊〕	長沢	4	0	1	0	1	0	0	0	0
残	7	34	4	9	4	4	3	1	0	1

投手	回	打	安	振	球	失	責
橋本	5⅓	24	6	3	2	4	4
有村	2⅔	10	2	1	0	0	0
堂脇	1	4	1	0	1	0	0
山本	2⅔	15	4	4	3	4	3
渡辺幹	2	15	6	1	3	8	8
大西	0/3	3	2	0	1	3	3
山本	4⅓	19	7	0	1	3	2

〔本〕鎌仲（橋本）〔三〕橋本　〔二〕丹野2　板越　綿屋　最上　柴田　〔併〕鹿2　〔暴〕山本　渡辺幹　〔逸〕渡辺翔▽審判（球）堅田（塁）橘　山口　長谷川次　2時間42分

●平川監督（北）　「三回まではうちの持ち味が出せていい勝負ができたが、四球とミスが大きかったと思う。四、五回の失点が悔やまれる」

一緒に来られた ありがとう

はま風

北海 **菊川悠人君**

ずっと一緒だったのに、甲子園ではベンチとアルプスで別々に。双子の兄・惟人（ありと）＝写真下＝がうらやましかった。

小学3年以来、けんかはしていない。高校は一緒に大阪から北海道へ。下宿先には2段ベッドを入れた。勉強机も横並び。移動バスは後ろから4列目が指定席で、ずっと隣同士だ。

常に支えだった。野球をやめようと思った時、「悠人がいるから北海道で野球ができてる」って言ってくれた。逆に惟人が腰の分離症に悩んでいた時は、誰よりも心配だった。ずっと助け合ってきたもんな。

合言葉は「一緒に甲子園に出て、親孝行しよ」。惟人が外野手、俺は内野手で昨秋はメンバー入り。こんなうれしいことはなかった。でも、春からは惟人だけ。情けなかった。だから、誰よりも惟人のサポートをしようと決めた。

夏の大会が始まる2週間前。気が抜けていた惟人が練習から外された。誰もいないグラウンド脇の水飲み場にいった惟人が見えた。「お前がやらへんくて、俺がどんな思いになると思う？ お前に託してるねんで」。真剣な話をしたのは初めて。泣きそうになった。あれから惟人の野球への姿勢が変わったのは、俺が一番知っている。

最初で最後の甲子園。背番号17の惟人の出番はなかった。でも、いい。一緒に北海道に来て、甲子園にも出れたし。一生の思い出になった。惟人、お疲れ様。ほんまにありがとう！

（大西史恭）

開会式 受け継がれた拍手

アルプス席

「泣くな野口！」というかけ声が今も耳に残っていると、青木（旧姓・島）峻策（しゅんさく）さん(90)は言う。

1938（昭和13）年、愛知の中京商（現中京大中京）は地方大会で敗退し、3季連続優勝に挑む甲子園に出場できなかった。野口二郎主将が1人で優勝旗を返還に。失意のエースに観客は万雷の拍手を送った。

「高校野球の精神は、甲子園のお客さんが作ったといっていい。遠来の私たちもずいぶん励ましてもらった」。同大会に出場するため、台北一中の青木さんは日本統治下の台湾から船で3日かけてやってきた。2年後、戦況悪化による中断前最後の大会も出場した。

軍隊生活を経て、戦後は総合商社に勤務した。

「甲子園でプレーした者として、常にフェアな生き方をしようと心がけた。それが私の誇りです」

生誕100年、戦後70年の大会が始まった。大会の繁栄と平和をかみしめ、青木さんもスタンドから後輩球児に拍手を送った。

（編集委員・安藤嘉浩）

●丹野（北）　2本の二塁打で2打点。「1打席も、1球も無駄にできないと思って、打席に入った。結果を出せたことはよかった」

学校のことなら、JS88.com
専門学校・大学・短大の夏のイベント特集掲載中！
JS88 オープンキャンパス　検索
オープンキャンパスへ行こう！2015
家族に教えたい、教育情報がここにあります。
学校の資料請求は「JS88学校パンフ」アプリで！　App Store　Google play
未来にプラス　ライフラーニングパートナー　株式会社JSコーポレーション